

# 渡辺政宗、が大往生

—NHK「大河」史上最高の視聴率—

## 当分ドラマやる気になれぬ



「独眼竜政宗」の最終収録を終え、ビールで乾杯する関係者。中央が渡辺謙と桜田淳子、東京・渋谷のNHKスタジオ

開いている左眼を伏せて感慨深げ、一年を超す長場を振り返り「どうしたらいいか分からなくなつた時もあつたが、先を見ないようにつとめてきた。こんなに大きな仕事をさせてもらつて、しばらくはドラマやる気になれない」。大役から解放された気持をそのままに、大きく息をついた。

政宗を支えた多彩な女性陣の一人桜田は「最後の別れのシーンは、ああ政宗の妻でよかつたなあと。芝居を離れてグツときました。と、目を潤ませた。「政宗」は、放送がスタートしてから、好視聴率の隆盛を「気づけ」卓、プロ野球オールスター戦を含め、民放各局の巨人カード十九回をすべて抜けず快進撃を続けた。

別の言葉を交わした政宗（渡辺謙は、一人静かに座り目を閉じる。翌朝、老家臣の成実（三浦友和）、綱元（村田雄造）が訪れた時には、満足そうなきみ笑をたえ、呟つたままの姿でこ切れていた。

収録には山口靖子、竹下景子らこれまでの主要な出演者

の現当主ら関係者多数も駆け付け、さしもの広いスタジオも人の波。最後のビデオテープが終了、周囲から拍手が起きると、それまではスタッフと冗談を言い合っていた渡辺も口を真一文字に結び、こみ上げるものをこらえていた。

「いつもは早く化粧を落したいと思っていたが、きょうはそのままがいい」と、

NHK大河ドラマ「独眼竜政宗」のラストシーン、政宗臨終の場面の収録がこのほど行われた。仙台地区で最高六四・八割、平均視聴率五五割という大河ドラマ史上最高記録を続けている人気時代劇も、この大往生シーンですべての収録を終えた。

臨終シーンは、史実を忠実に再現した。江戸の伊達屋敷の書院で愛姫（桜田淳子）と

や山形県の米沢市長、伊達家

うはここのままでいた」と、

晴れとした表情だった。最終回は十二月十三日に放送する。